

日二十二月一
定額...
日曜日 日曜日 日曜日

農村に就いて
没落して行く農民は
如何に生きべきか?

下
か様な有様だから最近の
民主主義的X関等な
々として小学校教員の月給
すら拂へない村がどれだけ
あるか判らない
某村の小学校校長は二年間
一文の月給も貰へないで餓
死せんばかりになったので
縣廳に訴請して呉れと請願
書を出したが、縣廳でどう
もして呉れないので無限の
恨を以て辭職した、これ
を見ても農村經濟の破滅は
も早小学校教員、役場吏員
までも失職させようとし
てゐる、各農村で小学校教員
役場吏員の減俸がどどん
と續いてゐる
一部の連中は失業者が都
會にばかりあるものゝ様
に云つて、失業者は農村
でもあつてゐるのである
恐らく土地飢饉と、農業
恐慌は農村生活者の三分
一を失業状態に陥れてゐ
ることを私は斷言する
次に、貧乏は農民を全く
食ひ、動物のやうなひど
く生活に追ひつゝゐる、
(これは農民ばかりでない
都會も同じだ)

潮聲
向山に陽の色は夕片時雨
時雨のやど待たぬ川向ひ
暮の江に舟のよりの時雨かな
ストロブ 灰一ぱいになりけり
ヘットラ 時雨を籠ま進み來ぬ
冬晴や赤 雪の裏をのりけり
冬うら 雪の裏をのりけり
ストロブ 雪の裏をのりけり

石籠新米宿舎
(一) 秀山 居
(二) 石籠
(三) 石籠
(四) 石籠
(五) 石籠
(六) 石籠
(七) 石籠
(八) 石籠
(九) 石籠
(十) 石籠

幕末神風組
(103) 土生太郎作
神風組 (四)

幕末神風組
(103) 土生太郎作
神風組 (四)

嫁と姑九
女子労働者講習會
古河人事係長

嫁と姑九
女子労働者講習會
古河人事係長

潮聲
向山に陽の色は夕片時雨
時雨のやど待たぬ川向ひ
暮の江に舟のよりの時雨かな
ストロブ 灰一ぱいになりけり
ヘットラ 時雨を籠ま進み來ぬ
冬晴や赤 雪の裏をのりけり
冬うら 雪の裏をのりけり
ストロブ 雪の裏をのりけり

石籠新米宿舎
(一) 秀山 居
(二) 石籠
(三) 石籠
(四) 石籠
(五) 石籠
(六) 石籠
(七) 石籠
(八) 石籠
(九) 石籠
(十) 石籠

潮聲
向山に陽の色は夕片時雨
時雨のやど待たぬ川向ひ
暮の江に舟のよりの時雨かな
ストロブ 灰一ぱいになりけり
ヘットラ 時雨を籠ま進み來ぬ
冬晴や赤 雪の裏をのりけり
冬うら 雪の裏をのりけり
ストロブ 雪の裏をのりけり

石籠新米宿舎
(一) 秀山 居
(二) 石籠
(三) 石籠
(四) 石籠
(五) 石籠
(六) 石籠
(七) 石籠
(八) 石籠
(九) 石籠
(十) 石籠

潮聲
向山に陽の色は夕片時雨
時雨のやど待たぬ川向ひ
暮の江に舟のよりの時雨かな
ストロブ 灰一ぱいになりけり
ヘットラ 時雨を籠ま進み來ぬ
冬晴や赤 雪の裏をのりけり
冬うら 雪の裏をのりけり
ストロブ 雪の裏をのりけり

石籠新米宿舎
(一) 秀山 居
(二) 石籠
(三) 石籠
(四) 石籠
(五) 石籠
(六) 石籠
(七) 石籠
(八) 石籠
(九) 石籠
(十) 石籠

潮聲
向山に陽の色は夕片時雨
時雨のやど待たぬ川向ひ
暮の江に舟のよりの時雨かな
ストロブ 灰一ぱいになりけり
ヘットラ 時雨を籠ま進み來ぬ
冬晴や赤 雪の裏をのりけり
冬うら 雪の裏をのりけり
ストロブ 雪の裏をのりけり

石籠新米宿舎
(一) 秀山 居
(二) 石籠
(三) 石籠
(四) 石籠
(五) 石籠
(六) 石籠
(七) 石籠
(八) 石籠
(九) 石籠
(十) 石籠

潮聲
向山に陽の色は夕片時雨
時雨のやど待たぬ川向ひ
暮の江に舟のよりの時雨かな
ストロブ 灰一ぱいになりけり
ヘットラ 時雨を籠ま進み來ぬ
冬晴や赤 雪の裏をのりけり
冬うら 雪の裏をのりけり
ストロブ 雪の裏をのりけり

石籠新米宿舎
(一) 秀山 居
(二) 石籠
(三) 石籠
(四) 石籠
(五) 石籠
(六) 石籠
(七) 石籠
(八) 石籠
(九) 石籠
(十) 石籠

潮聲
向山に陽の色は夕片時雨
時雨のやど待たぬ川向ひ
暮の江に舟のよりの時雨かな
ストロブ 灰一ぱいになりけり
ヘットラ 時雨を籠ま進み來ぬ
冬晴や赤 雪の裏をのりけり
冬うら 雪の裏をのりけり
ストロブ 雪の裏をのりけり

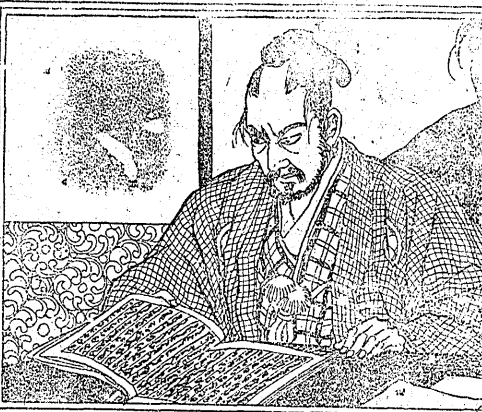
石籠新米宿舎
(一) 秀山 居
(二) 石籠
(三) 石籠
(四) 石籠
(五) 石籠
(六) 石籠
(七) 石籠
(八) 石籠
(九) 石籠
(十) 石籠

潮聲
向山に陽の色は夕片時雨
時雨のやど待たぬ川向ひ
暮の江に舟のよりの時雨かな
ストロブ 灰一ぱいになりけり
ヘットラ 時雨を籠ま進み來ぬ
冬晴や赤 雪の裏をのりけり
冬うら 雪の裏をのりけり
ストロブ 雪の裏をのりけり

石籠新米宿舎
(一) 秀山 居
(二) 石籠
(三) 石籠
(四) 石籠
(五) 石籠
(六) 石籠
(七) 石籠
(八) 石籠
(九) 石籠
(十) 石籠

誰やら訊いた
「さうだ、身共の考へた通り
に浮かんで来たが、彼等
(おれが!)何んか負けて
平管を定めた
御水本は益を手にして四
たまるものか!よし!早
速に退くツと見送つてから
法と云はれようが、人非
を云はれようが最後の手段
御水本は断じて、淺野を
たぶらなければならぬと
「さうだ、我々は只進二無
二、根本一派に向つて行
はうのだ、で問題は矢ッ
張りの淺野だ」
「へえ、あるにはあります
「今でもあるのか」
「上總屋、お主は確かオラ
ンダ渡りの短筒を持つて
「へえ」
「御水本も藤七も、淺野の
「それを身共に貸さぬか」
「へえ、そりやお安に御
問題になると、いさゝか
じろ氣味にならざるを得
ない。それは再三の失敗か
用ですが、短筒を又、何ん
らしても無理のない事であ

あつた、今何刻と心得て
らつた顔が、幻のやゝ
らつた顔が、幻のやゝ
らつた顔が、幻のやゝ
らつた顔が、幻のやゝ
らつた顔が、幻のやゝ
らつた顔が、幻のやゝ
らつた顔が、幻のやゝ
らつた顔が、幻のやゝ
らつた顔が、幻のやゝ
らつた顔が、幻のやゝ



「誰ぞ、」
「あは、い、い、貴様は
案外血のめぐりの悪い男
な、そんな事下手が動ま
るか!」
「へえ、申すありません
「ま、ま、い、では其の短
筒を貸して貰ひたい
「へえ、ようが、承知
たしやした、が御前、肝心
の火薬がありませんせ
「火薬か、何處にでも買
てゐるだらう、ついでに市
井へ行つて買つて来てくれ
「したが、今直ぐでけすか

「思はず一同は詰り寄つた
「その中に例の土方蔵三
も、近藤も加はつてゐると
「では、矢ッ張り、十方は
御水本は座につくと
「よい事をした、今日出掛
けて行つて、今、山間のと
ころへ行つて来たのだ。と
ころが彼奴の、そして集
まつたのだ、そして江戸
を守つて最後の合戦を目
論んでゐる奴等のある事
聞いた
「ま、ま、い、では其の短
筒を貸して貰ひたい
「へえ、ようが、承知
たしやした、が御前、肝心
の火薬がありませんせ
「火薬か、何處にでも買
てゐるだらう、ついでに市
井へ行つて買つて来てくれ
「したが、今直ぐでけすか

廣 告
美味で評判の
イワキザボン
平町電三三三二
前田醫院
院長 前田清美
植田町電話二二四

尼子自動車部
電話六四〇番
平町二丁目
新車も購入致しました。

胃腸病専門
皮膚科
性病科
皮膚科
性病科
皮膚科
性病科
皮膚科
性病科

品質第一
電話二六八番
平牛乳舎
平町・九品寺前

小兒科専門
附 志賀醫院
平白銀町十番地
(電話呼出)六五〇番

眼科専門
賀澤眼科
平町南町
電話七二番

吸入用酸素
純度99%
体温器
寒暖計

高久病院
平町(電話五三二番)

